

監査報告書

令和5年3月17日

施設部長 様

監査チーム

監査長 氏名 吉垣 達也

主任監査員 氏名 渋谷 英之



王禅寺処理センターの監査について次のとおり報告いたします。

記

1 実施結果

監査実施日：令和4年12月12、15、16日

今回の監査は、王禅寺処理センターのEMSが適切に構築及び運用されているかを確認するための定期監査である。

従って、監査対象は、EMS責任者、事務局、内部監査チーム、管理係、操作第3係について実施し、監査の結果、適合と判断した。

また、監査による指摘事項の件数は以下のとおり。

ストロングポイント	0件
改善の機会	4件
改善指摘事項 カテゴリーB	3件
改善指摘事項 カテゴリーA	0件

なお、指摘事項の詳細は別添の「監査実施結果通知書（監査 FM008）」を参照

2 監査所見（改善提案等を含む）

(1) 運用面について

改善を要する事案が複数あったが速やかに是正対応が図られEMSの運用がなされている。

また、昨年度のEMS監査で指摘があった力量、教育訓練及び自覚に関しては、教育訓練が概ね要領に則り、適切に維持されており、適正に運営されていることが確認できた。さらに、脱炭素化に関連した目的・目標である「重曹噴霧量調査及び重曹噴霧量削減方法の検討」について、実施責任者及び関連部門が協力し取組まれていることも確認できた。

これらを踏まえ、次年度以降も環境負荷低減に向け、EMSを活用した取り組み

※ 主任監査員は、監査結果及び監査チームで是正対応の検証結果等を反映した報告書を作成し、監査長へ報告する。

監査長 → 施設部長 → 評価委員会

(5年保存)

を継続されることが望まれる。

(2) 改善提案について

緊急事態について、竣工から10年が経過し老朽化が進む中、緊急事態の発生リスクが増加していることから、継続的に緊急事態の緩和・予防措置が図れるよう、緊急事態対応要領に則り設備の故障による環境への影響を速やかに討議することが望まれる。

また、EMSに係る取り組みは、EMS事務局や一部の職員のみが取り組むのではなく、センター全体で業務システムとして取り組む必要があり、持続可能な仕組みを維持するために、業務の引継ぎや機会を捉えて人材育成を行うことで、定期異動や退職等による人の入れ替わりがあっても円滑なEMSの運用が可能となるように期待する。

3 是正処置

(1) 是正処置記録提出日：令和5年1月31日

EMS監査の指摘に対応した改善の機会対応記録及び是正処置記録が全て提出された。

(2) 是正対応確認日：令和5年3月1日

改善の機会対応記録及び是正処置記録についての確認を監査チームにて実施し、指摘に基づく対応が全て完了していることを確認した。

(3) その他：なし

以上

※ 主任監査員は、監査結果及び監査チームで是正対応の検証結果等を反映した報告書を作成し、監査長へ報告する。

監査長 → 施設部長 → 評価委員会

(5年保存)